

十勝大橋



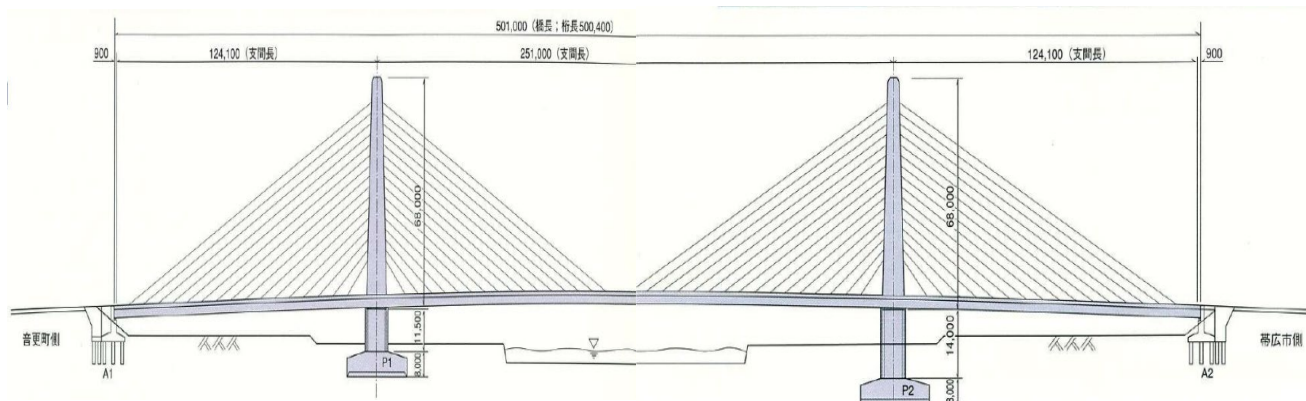
施主	北海道開発局
施工場所	北海道帯広市
完成年	1995年
橋長	501m
形式	3径間連続プレストレストコンクリート斜張橋
全幅	32.8m
最大支間	251m
桁高	2.5m～2.73m
主桁断面	4室箱桁
主塔	鉄筋コンクリート1本柱 高さ 68m
斜材	セミハープ型1面吊り 16段
架設方法	片持ち張出し架設工法
受賞	土木学会 田中賞 1995年
参考文献	橋梁と基礎 1995年 1月

本橋は、十勝川の改修に伴い、旧RCゲルバー桁橋の架け替えとして建設されたPC斜張橋である。

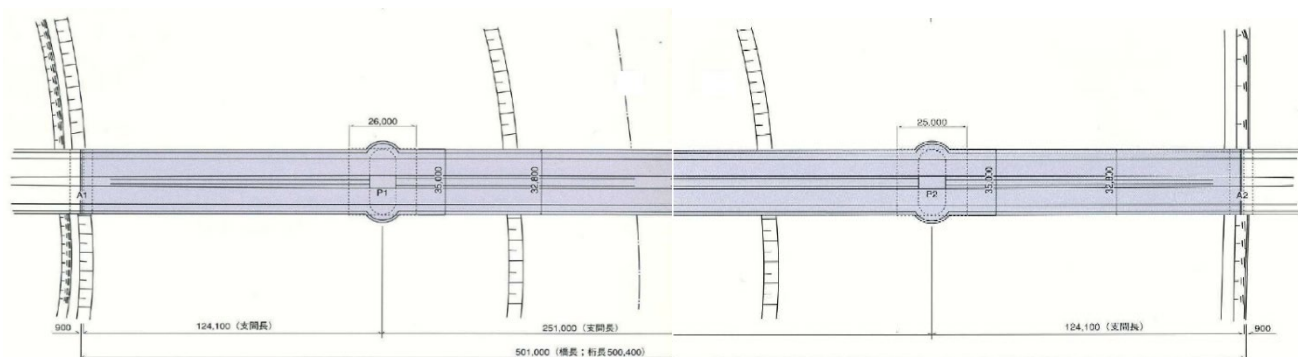
1面吊りの斜張橋としては極めて幅員が広い4室箱桁断面の橋梁で、斜材の桁側の定着は、ウェブを挟んだ定着となっている。斜材は、現場製作の15.2mmのマルチストランドで、最大容量は55本である。斜材の緊張作業は、主塔側で行われた。

上部工の施工は、5主構の大型の移動作業車で行われ、冬期施工を考慮し全天候型の上屋設備が設けられた。

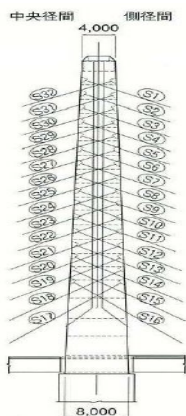
側面図



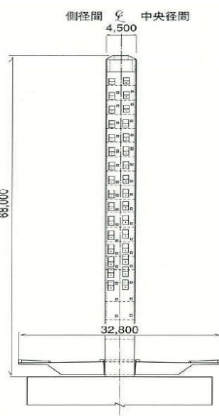
平面図



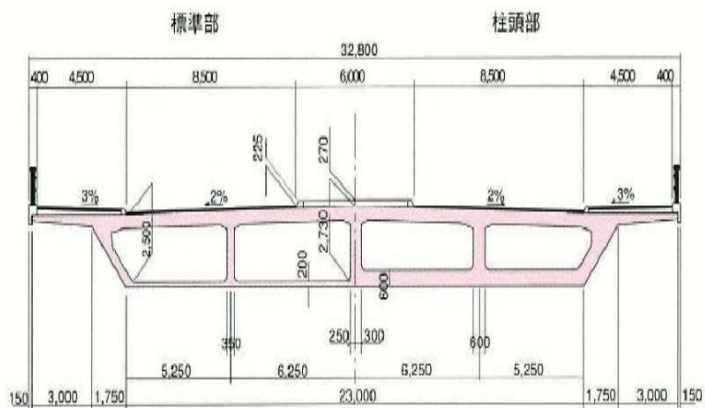
主塔側面図



主塔正面図



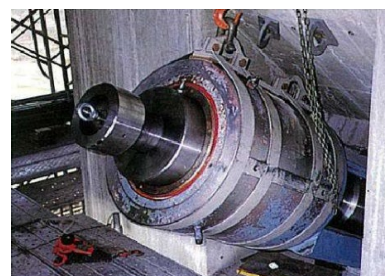
主桁断面図



シングルストランドジャッキ
による架設緊張



センターホールジャッキによる
一次緊張



テンションロッド・カップラーに
よる斜材の張力調整